

会 議 録

1 会議名

令和6年度第5回保倉区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

【報告事項】

- ・農業経営基盤強化の促進に関する計画「地域計画」の策定について（概要）（公開）

【自主的な審議】

- ・地域の活性化につながる取組について（公開）
 - ・「保倉歩こう会」の企画検討
 - ・地域との意見交換に向けての準備

3 開催日時

令和6年10月23日（水）午後6時00分から午後7時10分

4 開催場所

上越市立保倉地区公民館 研修室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員： 神村大輔（会長）、白田 修（副会長）、青木重一、秋山廣明、梅澤 博、高島和栄、中島 功、藤田一彦、巻内 勉、八木 隆、渡邊 巧
（欠席者1名）
- ・事務局： 北部まちづくりセンター：佐藤所長、近藤副所長、石崎係長、丸山主任

8 発言の内容

【近藤副所長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【神村会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：巻内委員、八木委員に依頼

議題【報告事項】農業経営基盤強化の促進に関する計画「地域計画」の策定について（概要）について、事務局へ説明を求める。

【丸山主任】

- ・資料「農業経営基盤強化の促進に関する計画「地域計画」の策定について（概要）」に基づき説明

【神村会長】

ただいまの説明に対し、意見、質問等はあるか。

随分忙しい計画で、11月下旬と12月中旬の2回の協議で10年後の目指すべき農地利用の姿をまとめられるのか疑問である。秋山委員、話は相当進んでいるのか。

【秋山委員】

市の農政課から話を聞いて、資料も全部持っている。1回や2回の話し合いでは決まらないのではないかとというのが正直なところである。

日本農業新聞の記事ももらってきたが、「集落ごとの将来の農地の利用方針をまとめたものとする」と書いてあり、市町村は来年の3月31日までにある程度書類を出してくれということを言われている。10年後と言われると、みんな農家も高齢化でリタイアする人がほとんどで、政府に言わせると国がそこまで先を読んで計画づくりを推進しているということである。

市からの依頼では、「地域計画」の書類を出すのは、来年の3月31日までだということを、今皆様にお伝えしておく。これは、各町内で決める。町内で決まらない分は、保倉区として決める。例えば、頸城区など、いろいろな外部を入れないようなやり方をするという話を聞いている。保倉区は保倉区でまとめてほしいという話になっていた。

【神村会長】

しかし実際には、もう既に、石川町内には頸城区の農業経営者がたくさんはいる。

【高島委員】

頸城区もいるし、三和区もいる。

【神村会長】

頸城区、三和区からもう入っているし、10年後を見据えたといっても、保倉区など

という狭いエリアで考えても、策定は難しいだろう。大きな課題であることは事実で、それをほんの一月、二月で作成することはあまりにも乱暴な話だと思う。皆さんも立場上、何らかの形でかかわらなければいけないと思うので、協力をお願いしたい。

何か意見はないか。

特になしということで、この報告事項についてはこれで終わりとさせていただく。

議題【自主的な審議】地域の活性化に繋がる取組について、「保倉歩こう会」の企画検討について、事務局へ説明を求める。

【丸山主任】

- ・参考資料「地域活性化につながる取組『保倉歩こう会 ～楽しく歩こう、保倉を知ろう～』企画概要案」に基づき説明

これをたたき台にして、地域の声を取り入れて充実したイベントになるようにしていきたいと思う。地域に協議、相談していく前に、今の段階で入れておきたい事項がないか今日のご意見を伺いたい。

【神村会長】

事務局より、前回の話し合いの中身を生かして企画概要案にまとめていただいた。

会議が始まる前に、梅澤委員から実際にコース案を歩いて距離を測定してきたということで、資料が届いているのでお伝えする。

- ・コース案の距離について説明

時間的なことや子供の足を考えたりすると、リサイクルパークを経由することは難しいのではないかと、先ほど資料を見させていただきながら感じたところである。お天気にもよるだろうし、参加する人たちの顔ぶれにもよると思うが、皆が楽しく、なんとか歩いて来られるということを考えれば、あまり無理はできないのではないかと感じている。あとは交通量の少ない道路や、歩道の整備がされている道路である等、安全が確保できるような状況を見極めなければいけないと思うので、コースについては、更に検討をしていく必要があると思う。まずコース案の距離を紹介させていただいた。

それから、予算的には、のぼり旗が大きな金額になっているが、それらを含めても、今の段階ではこれくらいの企画概要でよいかと思う。

(5) 番のイメージカラーについてだが、保倉のイメージカラーは何色だと思うか。

【藤田委員】

緑がいいのではないか。

【神村会長】

私も、緑ではないか、田んぼの色を考えると、ライトグリーンというか黄緑に近い緑ではないかという感じがする。ピンクという気もした。色をある程度決めて、のぼり旗の地の色にしたい。

【梅澤委員】

グリーンだと、文字を入れても目立たないのではないかと。私は、地域防犯のオレンジか空の青の方がいいのではないかと思う。文字を入れたときに、目立つというのが大事だと思う。

【中島委員】

旗の周囲を明るいグリーンにして、文字をライトブルーにしたらいと思う。その間に白を入れておくと、三色綺麗なはずである。

【丸山主任】

イメージカラーやキャッチフレーズ等は、地域の意見交換の中で話題にしてもいいのではないかと考えている。ここで皆さんと話し合っても決めにくいだろうし、空の青や緑など、いくつか案を書いておいて、そういうことも今後、地域の方とこれから話をしていく項目になればと思う。イベントの実施は来年の10月であり、地域独自の予算事業の予算を執行できるのも4月以降になる。

【神村会長】

せっかくなので、ほかに自分の好きな色はあるか。私の個人的な意見だが、防犯のオレンジは、確かに目立つが落ち着きがないと思う。色は、ほかの人にも聞いてみるが、多分まとまらないのではないかという気がする。キャッチフレーズについても、多分これもたたき台がないとなかなか話は深まっていけないと思う。

それで、私も三つほど考えてきた。保倉の頭の三文字を並べると、「ほ」は、「ほのぼの、ほっこり、朗らか」という言葉の頭の文字になるが、「く」が「苦しい」という感じで難しい。ここにある「ほっこり」という言葉は、最近のはやりの言葉だと思うので、「ほっこり暮らしのやさしい保倉」というような形で、地域を総称するようなキャッチフレーズもいいかと思ったり、「朗らか苦もなく楽々と」「ほのぼのと苦もなく楽々保倉かな」といった短い言葉で、保倉を表していくようなことを今後アイデアとして出していきたいと思う。例をいくつかそろえた上で、多くの方の意見を聞きたいと思うので、皆さんからも意見があればこの場で少し出していきたいと思うがいかがか。

(意見なし)

特になければ、今後詰めていくことにしながら、原案はこれで進めて、現在、令和7年度の地域独自の予算にエントリーしていて、予算化されることを前提にして今後も話を続けていきたいと思う。

それでは、歩こう会の企画概要案についてはここまでとさせていただきます。

次へ進める。

前回、9月の会議で、今後、地域の方々との意見交換、地域の方々の意見を聞く会を、やっていきたいということで話があったと思う。これについて、事務局へ説明を求める。

【丸山主任】

- ・資料No.1「地域活性化につながる取組の検討 保倉区地域協議会と地域の団体等との意見交換に向けて」に基づき説明

【神村会長】

ただいまの説明のとおり、資料No.1のように意見交換の企画書案を事務局から提示していただいた。それについて、これから意見を聞いていきたいと思う。

最初に、意見交換のテーマ、それから、意見交換先について意見はあるか。

(意見なし)

特に出ないようだが、地域資源の活用といっても、なかなか具体的な姿が見えにくいので、先ほど説明していただいたように、少し具体性を持たせたほうがいいのではないかと思う。

【渡邊委員】

意見交換テーマの二つ目に、「安全・安心なまちづくりの推進(防犯・防災)について」とあるが、このテーマで意見交換を行うといった場合、例えば、保倉駐在所や上越消防の方と意見交換を行うという意味か。

【神村会長】

そうではないと思う。地域協議会委員が意見交換をする団体、例えば、子育て世代を対象にした場合は、子育て環境、教育に関わる話が中心になると思うが、日頃考えている、ここに住んでいて悩んでいる、または課題だと思っていることを聞かせてもらうことを考えている。また、女性団体や民生委員の団体との意見交換では、地域の生活の中での安心、安全等、こういうことが心配だといった意見を聞くような場になるだろうと思う。意見交換というよりも、意見を聞く会になるのではないかと私はイメージしてい

る。

【渡邊委員】

事務局どう思っているのか。

【丸山主任】

駐在所や消防署から話を聞く会というのは、地域協議会の視察勉強会のような枠組みで実施することは可能である。今日の議題の「意見交換に向けての準備」としてお願いしているのは、地域協議会委員と地域住民の間で、「不安なことはないですか。地域で課題だと思っていることはないですか」ということを意見交換する会をイメージしている。

【渡邊委員】

駐在所や消防の人に対して、「保倉の住民として、こういうことが課題だと感じている」と意見交換する、その前の段階ということか。

【丸山主任】

そのように捉えていただきたい。

【渡邊委員】

はい。

【神村会長】

一つ目の「地域資源の活用について」は、あまりめぼしいところはないと思う。以前の協議会で藤田委員からお話いただいたように、このセミナーハウス（保倉地区公民館）、グラウンド、保倉体育館を含めて、こういったものの活用なども、そこに入ってくるかと思う。

二つ目の「安心・安全なまちづくりの推進（防犯・防災）について」は、防犯・防災とだけ書いてあるが、巻内委員から下名柄の町内会として空き家対策でこんなことを頑張っているというお話を聞かせてもらったが、ここら辺を地域の方の意見として直接聞かせてもらおう。多分空き家については、どこの町内でも課題になっていることだろうと思う。ただ、それを聞く相手が、子育て世代や女性団体、民生委員なのかと言われると、ちょっと首をひねってしまう。それは各町内でやっていることなので、地域協議会としてやらなければいけないのだろうかとは感じている。

それから「地域コミュニティの活性化について」は、今回、地域協議会で「保倉歩こう会」を企画しているが、ほかにも楽しいイベントをやってほしいといった意見があるのか、そうではなくて、増やさないでくれという意見もあるのかどうかということ。子

供たちは子供たちだけでやらせてもらいたいという意見もあるのかもしれない。

「その他」の中に、福祉サービスや介護のこと、先ほど話が出た農業経営に関すること、産業育成等、ここら辺にすべて関わってくるのが、人口減少が大元となってくるのではないかと思う。人口減少という問題を課題に出しても、相当難しい問題で、前回の地域協議会でも出したが、結局はなかなか成果につながらない。道路が整備されて交通の便が良くなると、そこに人が集まるというのは見てのとおりで、商業施設などが建設されるとその周辺に住宅団地ができ、そういった地域の人口が増え、活性化しているように見える。果たして、そういったことは今住んでいる保倉の人たちにとって幸せなのかという、一概にはそうとは言えないだろうと思う。そこら辺を含めて、地域に暮らす方々から意見をいただくというのは、大切な場のような気がする。

空き家対策も含めて、人口減少というのは大きな課題になってくるだろうと思うし、子育て世代も、保倉小学校の存続についても当然考えている部分なので、どうしたいのかという事も聞いてみたい。春日新田小学校へやりたいとか、有田小学校へスクールバスで通わせたいと考えていらっしゃる親御さんもいるかもしれないし、保倉の学校を頑張って大事に継続していけるように、生産人口を増やしてほしいと思っている方もいらっしゃると思う。そういったことを、地域の方と我々地域協議会委員の皆さんと、意見交換する場と考えていただければと思っている。事務局からさらに意見交換のテーマを整理してもらえればありがたいと思う。

子育て世代というのは、小学校だけではなくて、幼稚園の保護者や、中学校の保護者にも意見を聞く必要があるのではないか。主に小学校の役員さんが中心かと思うが、保育園の役員さんや、中学校の役員さんにも意見を聞いたほうが良いと思っている。

女性団体は、食推が一つある。それから健康リーダー。女性団体というと語弊があるかもしれないが、これも保倉まちづくり振興会の構成団体の中でも主に女性の方が多い。あと、有償介護について研修している福祉会もあったと思う。それから、民生委員、児童委員、主任児童委員、これは保倉で6人ぐらい。その人たちも、いろいろと困っていることや、悩んでいること、こうしたほうが良いのではないかと等、意見は持っているようである。

意見交換の団体については、子育て世代として一つのまとまり、それ以外の女性団体ではないが、食推、健康推進リーダー、福祉会、民生児童委員あたりを含めて一つのまとまりにしたほうが良いのではないかと思う。

そのほかに意見交換すべき団体等はあるか。

こういう場で意見交換をすると、ほとんど意見が出ないと思うので、前回の地域協議会のように小グループに分かれて話をしたい。皆さん地域協議会委員と、来ていただいた方々と、三・四つぐらいのグループにして、その中でいろいろ考えていらっしゃること、思っただけを聞き取ってもらいたい。1時間程度お話できればいいとイメージしている。

ここまで大体よいか。私一人で話していて申し訳ない。よろしければ、そのような形で進めていきたいと思う。

資料の四角囲みの中にある、子育て世代との意見交換を年内に終わらせたい。そうすると、民生児童委員や健康リーダー、食推との懇談会を年明けにもう一回持てば、大体年度末ではないかという感じがする。

今のところ、PTAの役員はまず外せないと思う。小学校へ行って調べてみる。そのほかに、保育園の保護者会、直江津東中学校のPTA役員についても園、中学校に確認する。そうすると、少なくとも15人くらいはエントリーできると思う。ただ、忙しいから、夜の会議は出られないとおっしゃる方もいらっしゃると思うので、実際には来ていただける方は、10人程度ではないか。地域協議会委員の人数が多くて、来てもらった人が少ないとかわいそうな気がするから、同数ぐらいは出席してほしいと思っている。今年の役員の方々がどこの町内の方々かというのも、私のほうで調べながらなんとか今月中に名簿を作りたいと思う。

町内会長全員から出てもらうことになっているが、これは地域協議会のメンバーだけでいいのか。全町内会長から出てもらったほうがいいか。

【佐藤所長】

事務局としては、今回の意見交換について、先ほどから皆さんがお話になっていた、「保倉の歩こう会」のイベントを少し視野に入れながら話ができれば思っていたところである。そこで、例えば、学校のPTA皆さんからお力添えをいただけるのか、子育て世代の皆さんがそういうイベントに参加していただけるのか、そんなところも少し探してみたいと思っていた。

今ほどの全町内会長さんの出席については、ぜひ全町内会長さん声を掛けていただいて、「保倉歩こう会」についての計画を共有して、少し前に進んでいけたらと思っている。

また、先ほど話があった防犯についても、以前、皆さんから空き家の話もあったので、

例えば、子育て世代の皆さんから、「あその家、崩れてきたら怖いね」という話も出るのではないか。そんなところから通学路の話にも波及するかもしれない。今回いろいろなことを、話していただきたい。

【神村会長】

町内会長さんは、我々協議会委員以外のあと5人の方にも声がけしたほうがいいか。今の話にプラスして、今年あまり参加してもらえなかった早朝ラジオ体操集会についても意見交換したい。関心がないから話題にもならないだろうし、逆に言うと、こちらから話題を出していかないといけないのではないか。関心を持ってもらえれば、参加の糸口になるだろうということは、歩こう会もラジオ体操集会も同じではないか。つまり、今回の意見交換会で話題に出せば、「そうだったな。じゃ、出なきゃいけないな」ということの意識づけになるのではないか。通学路の安心、安全も含めた中で、普段気になっていることを話題にしてもらいながら、地域に関心を向けていただく機会にしていけたらと思う。

【梅澤委員】

意見を求めるのであれば、全町内会長に声を掛けたらいいと思う。できるだけ大勢のほうが賑やかでいいのではないか。

【神村会長】

では、町内会長は全員出てもらいたいということと、あとは小・中学校のPTA、保育園保護者会の役員さんに声かけしてみたいと思う。出席の返信は、事務局にまとめてもらうという案である。

資料の枠で囲んだ中にあるように、令和6年12月11日水曜日、18時に地域協議会委員は集合、18時30分から保倉地区公民館で、子育て世代の保護者の方々と意見交換会を開くことでよいか。

(委員同意)

では、これで進めていくこととする。

【神村会長】

その他、事務局あるか。

【丸山主任】

今お決めいただいたように、12月11日に子育て世帯の方と意見交換会を行うということで進めていきたいと思う。

【神村会長】

- ・意見交換会：12月11日（水）午後6時30分から
- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 北部まちづくりセンター

TEL：025-531-1337

E-mail：hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。